



隣近所、支え合い住んで良かった朝陽地区！

発行 朝陽地区社会福祉協議会
共催 朝陽地区住民自治協議会
社会福祉部会
長野市大字北尾張部226-9

第二次地域福祉活動計画お披露目

推進委員会開催

5月23日朝陽支所二階において大勢の人たちが出席し盛んな質疑応答がなされた

◎第二次地域福祉活動計画策定委員会会長あいさつ（抜粋）



長野市では昨年平成28年10月から、「介護予防・日常生活支援総合事業」をスタートさせました。市が支援し、地域福祉ワーカー（生活支援コーディネーター）が中心になって、各地区版の「新しい総合事業」を平成29年度から策定して欲しいと示され、地域としては大変大きな課題であります。

朝陽地区では『支え合い安心のまちづくり』を主題に、「朝陽地区第二次地域福祉活動計画」の策定を検討してきました。

この『支え合い』に関し先ごろ大変興味深い新聞記事がありました。下諏訪町出身の藤森克彦さんがお書きになり、『单身急増社会の希望』（支え合う社会を構築するために一副題）の中で、人口が減り一人暮らしの人、特に80歳以上の女性の4人に一人、50代男性の5人に一人が一人暮らしになる時代を迎える。社会が求められるのは「支え合う社会の構築」だと述べています。

「支え合う社会」は経済成長の基盤であり、第一に社会保障の機能強化、第二に地域づくりであるとしています。安心して住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、医療、介護、生活支援などを提供する人々が、地域ごとにネットワークを築くことが求められる。これは「地域包括ケアシステム」と呼ばれる。また、「住民側のネットワークシステムの構築も重要で、住民同士が交流し、家族機能が低下する中で、どのように支え合いの仕組み作りをするかが重要と延べている。どのような社会を望むのか、各自が考えていく必要がある。そして未来は、自分たちで変えられる」とも述べています。

私どもの今後の活動や、事業を進めていく上で参考になるのではと思います。

◎今井副会長より第二次地域福祉活動計画冊子の披露及び説明



冊子は、今後5年間の設計図であり、文章は簡潔で短く内容は実践的に、電子記録も含め朝陽地区の経験を色々反映している。ホームページの資料編迄見ないと全編とは言えない。

やがて4割が高齢者。介護保険の問題もあり、地域をいかに暮らしやすくすると言うことが一番の課題になる。みんなが気軽に寄れるコミュニティーを作っていく活動が一番大事。まず区レベルで作って、常会や隣組に下ろしていく。新規のオレンジカフェのような普段から寄り合いが出来ることが大切。



◎宮澤社協会長より「支え合い安心のまちづくり推進委員会」の発足についての提案

現在の策定委員会を⇒推進委員会にしたい。

現在の作業部会を⇒常任推進委員会にしたい。

一次計画では、進捗管理は出来なかったが二次計画では管理していきたい。

◎活発な質疑応答

Q.各地区でどのようにやって行くのか？推進協議会は誰が主体で作るのか？地域公民館の協力とは？

A.地域に温度差もあり、指示は出せないが参考意見は言える。自分たちの町は自分たちで作ってもらいたい。公民館開放を実施したモデルもあり、管理は区で活動は公民館役員等。

Q.各地域に役員になる担い手がいない。

A.各地区の理解が無いと社協活動を進めることが出来ない。

福祉推進員を各常会で1人へ変更を検討して行きたい。

等々沢山の意見がありました。各区が中心になり社協、民生がお互いに協力しあつて、各地域にあったやり方で、しっかりと第二次地域福祉活動計画を実行していきましょう。

いのちの講座

5月24日朝陽支所二階に於いて、講師 高橋ピン子さんをお迎えして開催されました。

託児場所も用意されて、これから子供が生まれるお母さん方が、安心して赤ちゃんを産めるように、いろいろなお話がありました。赤ちゃんは自分でお母さんを選んで生まれて来るとか、妊娠中や特に出産時、スキンシップでも幸せホルモン オキシトシンが沢山分泌されるなど。

最後に聴講に来ていた皆さんとハグをされていました。



朝陽地区オレンジカフェ

まめカフェ

社会福祉法人 花工房福祉会
多機能型事業所 エコーンファミリー
〈障がいのある方たちが働くカフェ〉
長野市北尾張部531 おまめ喫茶そいてい

○国道18号線「木工団地入口信号から1分
○セブンイレブン「長野木工団地入口店」向かい
○駐車場5～6台完備（朝陽支所駐車場徒歩3分）

参加費 100円（1ドリンク+デザート付き）

開催 毎月第1木曜日 10:00 ~ 12:00

7月6日(木) 8月3日(木)

認知症の専門スタッフや、地域のボランティアさんが皆さんのお越しを笑顔でお待ちしています
どなたでもお気軽にお立ちよりください

